

阪神・淡路大震災24年 児童・生徒、教職員

追悼の夕べ

1月17日、兵教組はラッセホールで「阪神・淡路大震災24年 児童・生徒、教職員追悼の夕べ」を開催した。ご遺族や教育行政関係者、教職員等258人が参加し、志半ばで無念にも亡くなった児童・生徒、教職員の方々に思いをはせ、震災を語り継ぎ、その経験と教訓を生かす教育改革を推進する決意を新たにした。(兵教組ホームページの組合員専用ページに動画を掲載予定)



追悼の歌を歌ってくれた
神戸市立桂木小学校合唱団のみなさん

1. 17への思い (抜粋)

阪神・淡路大震災から24年目の1月17日を迎えた。6,434人もの犠牲者を出した大震災は公立学校・園の園児・児童・生徒296人、教職員22人も犠牲にならされた方々の御霊に、深く哀悼の意を表す。今日の復興は、震災により亡くなられた方や、負傷された方、財産を失われた方など、多くの犠牲の上に成り立っている。私たちが決して忘れない。私たちが、壊滅的な被害を受けたあの日以降、命の尊さや助け合いの大切さ、ボランティア精神の重要性などを語り継ぎ、人間としての在り方や生き方を考えさせる「兵庫の防災教育」を推進するとともに「自然学校」「トライやる・ウィーク」などの兵庫型「体験教育」を県民の参画と協働により展開してきた。



西上三鶴兵庫県教育長

震災を経験していない世代が増えたため、震災の記憶を風化させないよう、地域と連携した実践的な防災訓練、教職員による語り継ぎ、追悼行事の開催など、震災当時のことを継承する取り組みが重要だ。子どもたちが日頃から、自ら学校や地域の防災について考えること、さらには被災地に実際に赴き、被災された方々から直接話を聞く被災地ボランティアの取り組みも、防災教育が兵庫の学校に根付いている証しであると感じている。



長谷川 元気さん (神戸)

語り

防災・減災意識を高め、次の災害に備える取り組み、子どもたちには様々な自然災害から自らの生命を守るための主体的に行動する力を育むことが求められている。共生の心を持って復興に取り組みでいける「兵庫の防災教育」を一層発展・充実させていくことが、私たちの責務であると考えている。

私は阪神・淡路大震災で、母と弟を亡くした。毎日、亡くなった母と弟が夢に出てきた。夢から覚めると、受け入れられない現実と涙を流し、そのままずっと泣き続けるといったことが、小学校の間続いた。そんな震災から学んだことが2つある。1つ目が夢を持つことの大切さ。震災当時、小学校に行っても、僕には母がいなくて、運動場の端で一人泣くことがあった。当時の担任の先生が横に座って、励ましてくれた。その時は、こんな自分の背景を理解し、自分に寄り添ってくれる、そんな温かい優しい人になりたいと感じた。その先生との出会いがあり、震災という経験があったから、今ここに教職員として立っているのだと感じる。

2つ目は、今、自分のまわりにいる人の大切さ。私は、とても後悔した。どう

志半ばにして犠牲になられた皆様のご冥福を心からお祈りするとともに、最愛の家族を失い、苦難の24年を生きて抜いてこられたご遺族の皆様、改めて心からのお見舞いを申し上げます。今年度4月から、震災後に生まれた人たちが教職員となった。震災から学んだ教訓を生かしていきながら、震災を経験していない若い世代の教職員にも語り継ぎ、これからの教育活動に生かしていく決意を新たにしている。

私たちがこの一年間のと

りくみを、みなさんに報告し、御霊にささげたい。昨年6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、連続して上陸した大型台風、そして9月の北海道胆振東部地震は、各地に甚大な被害をもたらした。兵教組は、特に被害の大きかった、岡山、広島、愛媛、そして北海道の各県教組・高教組に見舞金を贈り、連合兵庫「絆」基金カンパにトリくん。さらに、震災学校支援チームEARTH部隊員の大阪、岡山、北海道派遣に協力し、被災地の学校支援や教育復興に全力で

集会の「生きる力を育む教育」分科会で、実践報告と討議をおこなった。参加者からの実践報告では、年間を通じた防災プログラム、提案や地域と連携しながら子どもが主体的に行動していける防災カリキュラムの作成など、これからの防災教育を意識した内容の実践が報告された。討議を深める中で、「過去から学び、今を精一杯生きる」という意見から「生きる力」を育むことにつながるヒントがあるのではないかと提起された。

兵教組並びに兵庫県学校厚生会は、子どもたちに「生きる力」を育む教育実践の深化・発展、学校や教職員・子どもたちの支援に、引き続き努力することをお誓い申し上げる。

教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10-8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 小西宏典
電話 050 (3538) 2346
1部 15円 年定価360円
(組合員の購読料は組合費の中に含む)

2019/2・1

No. 1968

2面

・近畿ブロック青年部交流学習会
・第25回参議院議員通常選挙・第19回統一地方自治体選挙(前半) 兵政連立候補予定者紹介

りくんだ。
東日本大震災から8年、熊本地震から3年を迎えようとしているが、インフラ整備がすすむ一方で、その復興はいまだ道半ばなどところがある。兵教組は、東日本、熊本の被災地から兵庫県の小・中学校、特別支援学校に転入している子どもたちに「図書カード」を贈るとりくみを今年も継続している。同様に、兵庫県学校厚生会も、西日本豪雨災害で被災した学校や児童・生徒を支援するため岡山・広島・愛媛県学校生協を通じて、各教育委員会に生活用品事業の売上の一部を寄付した。

Lasse Hall

人集い、街華やぐ交流拠点

2018 Winter

第四弾

冬のパッケージプラン

2018年12/1(土) ▶▶ 2019年2/28(木)

2時間制 20名様から

雪ゆき

お一人様 5,000円

和洋中卓盛り料理

●ボークと白菜のマリネ、黒胡椒風味
●ヤリ島鶏カレー味 兵庫県産野菜とトルティーアのサラダ
●炙りサーモン 醤油ドレッシング
●鮎のフライ コールスロー タルタルソース
●鮎つみれ 厚揚げ 菜合せ
●三田こしひかり 巻寿司 稲荷寿司
●デザート (buffetコーナーにてご提供)
●コーヒー (buffetコーナーにてご提供)

終ひらぎ

お一人様 6,000円

和食卓盛り料理

●鮎カルパッチョ ハジオリレンジの香り
●ベッパチキン 兵庫県産サラダ仕立て
●お造り三種盛合せ
●牛肉と冬大根のフレンチ マスタード風味
●ヤリ島鶏と兵庫県産野菜のペンネグラタン
●三田こしひかり 兵庫県産レタス サラダ色寿司
●兵庫県産産物の焼酎そば
●デザート (buffetコーナーにてご提供)
●コーヒー (buffetコーナーにてご提供)

椿つばき

お一人様 8,000円

和洋中卓盛り料理

●ずいじと生ハム 兵庫県産野菜サラダ オレンジ風味
●鴨のプレゼ モッツアレラチーズ パケット添え
●コールミート盛合せ
●スパイン産イペリコ豚 兵庫県産トマト煮込み ポテト
●サーモンと根菜 オープン焼き
●三田こしひかり にぎり寿司盛合せ
●(オリーブ) 生ステーキ 焼酎焼き
●フルーツ デザート (buffetコーナーにてご提供)
●コーヒー (buffetコーナーにてご提供)

フリードリンク

●瓶ビール ●焼酎(芋/麦) ●ウィスキー ●ハイボール ●赤/白ワイン ●日本酒又はカクテル ●ウーロン茶 ●オレンジジュース

※記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたしますのでご相談下さい。

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110

お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

ラッセホール

〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8

TEL.078-291-1117 (代表)

FAX.078-291-0333

https://www.lassehall.com

E-mail info@lassehall.com

ラッセホール

地図

“きょう” から広がる近ブロの輪 ～さあ踏み出そう友 “と” 共に！～



第23回近畿ブロック 青年部交流学習会

1月12日から2日間、京都市の「ホテル平安の森京都」で「きょう」から広がる近ブロの輪くさあ踏み出そう友“と”共に！をテーマに近畿ブロック（以下近ブロ）青年部交流学習会が開催された。県内各地域組合や近畿各教組から参加した青年部員約160人は「子どもを中心にした学校づくりをすすめるために何をしなければいけないのか」等を考えるディスカッションやグループ討議、近ブロ独自の参加体験型の交流活動をおこない、同じ思いを持つ仲間とのつながりを深めた。

全体講演会では、フリージャーナリストで元毎日新聞記者の中村一成（イルソン）さんが『私／私たちの現在地点』『ヘイト解消法から2年半』と題して講演をおこなった。「新学習指導要領が示され、校種を問わず学校が翻弄されている。一方、社会ではヘイトスピーチ、ネット上の地名総鑑など、偏見、排除、差別に満ちた情報があふれている。『目の前の子どもたちを大切に』のために何が必要なのか、様々な背景を持つ子どもたちが、今の社会で生きていくための力ををつけるには、学校は

業・たのしい職場（学校園所）の実現をめざして、教育労働者としての力量を高め、仲間とのつながりを深めていく。学校現場の多忙化がすすんでいる今だからこそ、私たち青年教職員は仲間と集まり、同じ時間を共有し、語り合い、青年部同士のつながりを強めることが必要である。世代交代期の今こそ、先輩教職員とのつながりも大切に、先輩方の教研活動をはじめとする組合活動を語り継がなければならぬ。さらに、子どもたちや保護者と向き合い、地域住民とのつながりを深めるとともに、先輩教職員が協力・協働のもとに育んできた平和・人権・環境・共生教育を自主的・主体的に発展させていく。



近ブロ青年部交流学習会 ねらい

- ①近畿の青年教職員の仲間が集まり、交流する
- ②青年部どうしの活動の活性化をはかる
- ③近ブロからよりゆたかな青年部活動をつくりだし、全国に発信する
- ④組織拡大・強化をめざし、青年リーダーを育成する
- ⑤2019年春闘にむけて日教組青年部運動の意思統一をはかる
- ⑥政策制度要求・実現にむけての意思統一をはかる

第19回統一地方自治体選挙（前半）

3月29日告示 4月7日投開票（予定）

第25回参議院議員通常選挙（7月予定）

しゅんいち
みずおか俊一



**教育、くらし、平和
希望ある未来を
子どもたちに！**

三木市で中学校教諭、インドで日本人学校教諭を務める。元兵教組書記次長。04年参議院兵庫県選挙区初当選。内閣総理大臣補佐官、参議院内閣委員会委員長などを歴任。

神戸市会 東灘区

やの こうじ



**子育てと教育、福祉の充実
安全、安心なまち東灘**

和歌山大学教育学部卒業。神戸市の小学校教諭・教頭として勤務。神戸市教職員組合書記次長や兵庫教育文化研究所事務局次長などを歴任。

神戸市会 須磨区

ゆうじ
さきもと 祐治



**明日の神戸は市民が創る！
捲土重来！**

大阪体育大学卒業。神戸市の小学校教諭として勤務。兵庫教育文化研究所事務局次長や兵庫県教職員組合執行委員などを歴任。97年神戸市議会議員補欠選挙（須磨区）初当選。

兵庫県議会 西宮市

なおみ
おくの 尚美



**明日のくらし！
子どもの未来！
つながりあえる県政を**

日本福祉大学女子短期大学部卒業。西宮市の小学校で学校事務職員として勤務。その後、兵庫県教職員組合西宮支部事務職員部副部長や西宮市立夙川小学校学校副主幹などを歴任。

兵政連（兵庫県民主教育政治連盟）立候補予定者
（2月1日現在）

自動車共済

教職員のためだけの共済だから

こんなにスゴイ制度ができました

**スゴイ ① 「公務中」「通勤中」の事故は
等級ダウンなし！**

*「公務中」は全コース・全等級に適用

*「通勤中」は補償充実コース・6等級以上で1共済期間につき1回

事故後も通常の等級割引制度内での「等級ダウン」が適用されるだけで、**大幅に割増となる掛金料率（事故有等級）が適用されることはありません。**

**スゴイ ② 「事故有係数」を
使用した等級割引制度は不採用！**

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧ください。制度内容をご確認ください。

あんしんむすぶ 教職員共済

資料請求は
お問い合わせ

**教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所**

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4丁目10-8
ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730

FAX (078) 221-1199

承 18-56-04 (1810)